



子どものために
がんばります!

9月定例会

P2~3 新型コロナワクチンの追加接種 5回目を実施へ

P4~5 4会計とも黒字決算! 今後も健全な財政運営を

P7 旧うなばら荘 撤退通告あり!

P8~13 一般質問 5人の議員 村政を **問う**

P14~15 村民インタビュー
GAPのみなさん



の追加接種 4千円を計上

5回目を実施へ

9月議会

議案第34号

日吉津村長の給与の減額に関する条例

【理由】

下水道事業事務における職員の不適切な事務処理事案の発生をうけ、管理監督責任として村長の給与を減額するもの。

【概要】

村長の給料月額を1ヶ月間100分の10減額するもの。

【条例一部抜粋】

第1条 この条例は、日吉津村長の給与及び旅費に関する条例及び日吉津村長の給与の特例に関する条例に基づいて支給する給与の額の減額について定める。

第2条 村長の給料月額は令和4年10月1日から同年10月31日までの間において給与条例第3条及び給与特例条例第2条の規定にかかわらず、給与特例条例第2条に規定する給料月額から当該月額の10分の10に相当する額を減じて得た額とする。

9月議会は、9月6日から22日までの17日間の日程で開催され、条例の一部改正・補正予算・令和3年度決算の認定・教育委員会委員の任命など12議案を審議。全ての議案を原案どおり可決・認定・同意し、閉会しました。

議案第35号

日吉津村職員の育児休業等に関する一部改正

【理由】

国家公務員の「妊婦・出産・育児等と仕事の両立支援のために講ずる措置」にともない、地方公務員も同様の措置を講ずる。

- ・育児休業の取得回数制限の緩和等。
- ・非常勤職員の子の出生後8週間以内の育児休業の取得要件の緩和。
- ・非常勤職員の子が1歳以降の育児休業の取得の柔軟化。



非常勤職員の育児取得要件の緩和と柔軟化について説明を。



能となった。

【答】 育児取得回数制限の緩和等は、原則2回（改正前・原則1回）まで取得可能となった。育休取得要件の柔軟化は、（改正前・継続取得）複数回取得が可能となった。

議案第44号

村教育委員会委員に金田綾氏を同意（任期4年間）

現教育委員の、音田純子氏（上2）の任期が令和4年9月末で満了となるのにもない、後任に金田綾氏（下口）を任命することについて、議会の同意を求めるもの。



教育委員会委員の任命課題はなにか。



【答】 月1回の定例教育委員会に出席していただくことである。



金田綾氏

新型コロナウイルス

国からの支出金812万

補正予算の総額

- 一般会計 6,963万円
- 国民健康保険事業勘定特別会計 2万円
- 下水道事業会計 資本的収入 330万円
資本的支出 5,624万円

議案第45号

一般会計補正予算追加議案（主な歳出）

議案第46号

〔新型コロナウイルス接種体制確保事業〕

824万1千円

新型コロナウイルス接種は60歳以上の集団接種5回目（10月以降）の経費と、5歳以上3回目は努力義務とする。



子どもへのワクチン接種は努力義務とあるが、その対応は。



村の小児ワクチン接種は18%程度で推移している。国では小児接種努力義務化の方向性が出され、村でも今後、子ども接種を続けていきたいので、保護者の協力をお願いしたい。

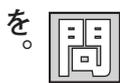
〔新型コロナウイルス対策金融支援事業〕

1200万円

新型コロナウイルスや原油・物価高騰の影響等を受けている村内の法人や個人事業者を対象として基準を満たす場合、一定額補助として一事業者に10万円を交付する。

〔生活困窮者等の原油高・物価高騰緊急対策給付事業〕

280万円



扶助費280万円給付の説明を。



現在行っているエアコン光熱費7千円の延長補助事業で、非課税世帯一世帯あたり1万4千円（6カ月分）見当の200世帯分である。

〔新型コロナウイルス農薬資材物価高騰対策事業〕

652万8千円

新型コロナウイルスや原油高騰により農業資材・光熱費・肥料が高騰している。

水稲、大豆、ネギ、ブロッコリーを作っている農業者に対して、経費の高騰分相当の金額を補助する。



水稲、大豆、ネギ、ブロッコリーが対象となった理由は。



村では水稲は大豆、ネギ、ブロッコリーは地域振興作物に指定している。事業費の枠内で、それ以外の作物にも対応したい。

一般会計補正予算追加議案

〔住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業ほか〕

1175万3千円

・物価の高騰が続くなか、負担軽減を図るため、住民税非課税世帯を対象に一世帯5万円給付に1000万円。

・うなばら庄活用に係る協議のための弁護士報酬に50万円。



電算委託料165万円は少し高いと思うが、その必要性を伺う。



現段階では国の方でも支給時期や実施要綱はまだ定まっていない。今時点の電算委託料は見積であり、今までの給付実績を勘案している予算である。

今後も健全な財政運営を

会計・後期高齢者医療特別会計・下水道事業会計》

《一般会計》(歳入) 35億9千87万円

(歳出) 34億6千322万円

(差引額) 1億2千765万円



ミライト
ひえづ



《国民健康保険事業勘定特別会計》

(歳入) 3億5千625万円

(歳出) 3億5千623万円

(差引額)

2万円

《後期高齢者医療特別会計》

(歳入) 4千465万円

(歳出)

4千453万円

(差引額)

13万円

《下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算》

(収益的収入) 1億5千290万円

(資本的収入)

390万円

(収益的支出) 1億3千450万円

(資本的支出)

4千690万円

※金額は四捨五入

まだまだ
工事継続中

各課で検討すべきと考える点

【総務課】

- ・防災訓練の充実を図りたい。
- ・村づくり基金の使途に村民の意見(参画の場)を。

【総合政策課】

- ・デジタル化の行政への推進、村民への研修機会の充実を。
- ・村行政アドバイザーの位置づけや活動概要の提示を。

【福祉保健課】

- ・80歳以降にも人間ドックへの補助をされたい。
- ・タクシー券の上限の変更を。

【住民課】

- ・びんのラベル処理など、資源ごみの出しやすい方法の検討を。
- ・男女共同参画の調査・計画の見直し等を早急に。

【建設産業課】

- ・安心安全のため、村民からの行政通報システム(仮称)の設定を。
- ・イオン日吉津店・ケーズデンキと除雪についての協議を。

【教育委員会】

- ・村民の文化活動の協議会設置。
- ・中学生のサークル活動定着を。
- ・図書館へ条例定数内の司書を採用し郷土資料の収集配架等を。

3年度
決算

4会計とも黒字!

《一般会計・国民健康保険事業勘定特別

* 令和3年度決算審査 *

【日 時】 令和4年9月13日・14日・20日
(3日間)

【場 所】 日吉津村議場

【委員構成】 委員長：橋井（総務経済常任委員長）
副委員長：前田（教育民生常任委員長）
委 員：加藤・松田・三島・井藤・
松本・河中・長谷川・山路



【審査方法】 2日間にかけて、各課から説明を受け、質疑をする。(13日・14日)



「決算審査報告書」をもとに審議し、会計ごとに
各議員が「認定」「不認定」を決定する。(20日)

4議案とも全会一致で「認定」しました

おもな財源

村税(歳入の約25%) ……ほぼ前年並み

【個人住民税】 微増 【法人住民税】 3.3%の減 (コロナの影響か)

【固定資産税】 転入世帯などによる住宅建築の影響からか、土地・家屋は微増して
いるが、事業所等の償却資産は、前年比2.1%減

地方交付税(歳入の約19.8%) ……前年度比約32.4%の増

(コロナの臨時交付金、国勢調査人口の増が交付税算定基礎に反映された)

国庫支出金 ……前年度比約46.5%の減

(コロナ対策の特別定額給付金事業等の終了が反映された)

村債(借り入れ) ……前年度比約343.7%の大幅増

(複合型子育て拠点施設『ミライトひえづ』の建設にともなう財源確保によるもの)

財産収入 ……前年度比で約7千390万円の増

(土地開発公社の解散にともなう清算金が村の収入となったため)

陳情1件を審査しました

【陳情第14号】 会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情

陳情者：自治労鳥取県本部執行委員長 山口一樹
日吉津村職員労働組合執行委員長 里 英樹

委員長報告

賛成 長谷川、三島、河中、前田

本会議結果

採択

討論なし

不採択

反対 橋井、井藤、加藤、松田、松本

議員の発議案により 国に意見書を提出しました

【発議第7号】 肥料価格高騰対策を求める意見書について

提出理由

昨年から続く国際的な原油価格の高騰、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安によって、一次産業中心に資材価格の高騰が問題となっている。とくに農業分野において、肥料価格の高騰が生産者の経営意欲を奪い、専業・兼業を問わず、離農者の増加につながり、ひいては、農地の保全が困難な状況にいたる可能性がある。そこで、国の食料安保の観点から肥料価格高騰対策などを講じるよう、意見書を提出するものです。

委員会調査活動

教育民生常任委員会

調査日 令和4年8月24日

調査対象 ミライトひえづ

調査目的

「ミライトひえづ開設準備の進捗状況と運営体制について」

考察

- ① 村民期待の拠点施設の完成、今後の活用を期待する。保護者・利用者・児童の期待に相應る施設として活用されたい。
- ② 施設責任者は村長だが、現場責任者のリードでスタッフの連携が十分できるように努められたい。運営については、より良いものになるよう、柔軟な対応・見直しを図ってほしい。
- ③ 各部署スタッフの研究協議がされてきたが、業務開始した際に顕在化する課題もある。十分検討しつつ円滑な運営に努められたい。

旧うなばら荘

9月22日全員協議会に
村長から報告

施設活用事業を 中止する申し入れあり

報告内容

(株)ヤードクリエイションの代理人弁護士から、9月17日付文書で「旧うなばら荘施設を活用したアスリート複合型宿泊施設のプロジェクトについて、日吉津村及び西部広域行政管理組合に対し、事業を中止する旨の申し入れがあった」と報告がありました。

村としては、弁護士を立て、この問題に対処する方針とのことであるが、議会としても重大と受け止め、今後の動向を注視していく。



温泉の泉源

委員会調査活動

総務経済常任委員会

調査日 令和4年8月23日

調査対象

- ① 旧うなばら荘西側1号泉源
- ② 新鮮市場(株)ひえづ物産)

調査目的

「温泉の泉源と新鮮市場の現状について」

考察

① 令和4年6月議会において賛成多数で、村有財産を50年間無償利用・無償貸与を決議した。その後の利活用状況確認のため現地調査を行った。

現況は、荒廃地化し管理は「ずさん。村として管理の徹底を促すとともに、環境保全に努めるよう催告すべきとした。

② 土地・建物とも(株)ひえづ物産所有。入店テナントからの賃貸料で運営している。

テナント枠は5あり、現在1店が空きである。今後は、空きテナントの補完と建物の耐用期間を見据えた経営計画を立て、販促手法を一考されたい。

村

政

を

問

う



5人の議員が
質問しました。



9月7日(水)

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	9	1. 旧うなばら荘の今後の活用は 2. 高規格道路整備 今後の見通しは
井藤 稔	10	1. 防災力強化の重点と課題は 2. 安全安心への配慮は 3. デジタル化推進の方向は
河中 博子	11	1. 職員のモラルについて 2. 海浜エリア活性化の進捗は
三島 尋子	12	1. コロナ禍、暮らしへの施策を 2. 保健委員の役割は
前田 昇	13	1. 海浜エリア活性化の情報共有を 2. 一人の村民も孤立させないための施策を 3. ヴィンステ図書館の自習利用の試行を



松田悦郎 議員

旧うなばら荘の今後の活用は

村長 現段階では何も話せない



▲荒れ放題の旧うなばら荘

Q

旧うなばら荘の施設及び敷地の利活用は、村政にとって大きな課題であり、村民の関心も非常に高いと思う。
民間事業者がサイクルツーリズムに特化した施設として利用する計画は、すでに施設売買や土地の賃貸借等の契約が終わっている。

旧うなばら荘の活用について、村民説明の考えを伺う。

A

村長

うなばら荘は3月末で終了し、土地は西部広域行政管理組合から返還を受け、民間事業者と事業用定期借地権設定契約で50年間の賃貸借契約を締結。また、泉源の土地と泉源揚水ポンプなども土地使用賃貸借契約を結んでいる。

先日、新聞でうなばら荘関連の記事が報道されたが、村として事

業者より正式な意向は受けておらず、現段階では何も申し上げることができない。
今後なにか動きがあれば、その内容を確認し協議を進めながら状況に応じて村民の皆さまに報告したい。

高規格道路整備
今後の見通しは
村長 国土交通大臣に
要望した

Q

高速道路と一般道路の中間的な役割の高規格道路計画は5年が経過した。
住民のアンケート内容は、9割の方が国道431号の渋滞解消や災害時の代替路の確保など整備を望んでいる結果であった。
現在までの進捗よく状況と見通しを伺う。

A

村長

昭和41年に中国道は岡山から境港の予定路線であったが、米子インターから米子北インター間の凍結が続いている。
高規格道路は人流・物流、渋滞の解消、医療の搬送時間短縮や原子力防災避難路などに重要と考えている。
大臣からは前向きに考えたし、国の直轄事業であり、自治体と更なる検討をしたいとの発言があった。

アンケート調査結果や北インター凍結解除



▲渋滞がすごい国道431号



井藤 稔 議員

防災力強化の重点と課題は

村長 訓練等を通し向上を図る

Q 防災計画見直し後、次の点について伺う。

- ① 村の災害対策本部の体制強化は。
- ② 地区（自治会）の防災組織充実の考えは。
- ③ 連携に関する考えは。

A ④ 今後の課題と展望は。

① 職員の人数が少ない中、いかに効果的に動かすか工夫する。会計年度任用職員の訓練参加については検討してみたい。本年

は、状況付与型の実践的な訓練を予定している。

② 平常時の啓発活動と、防災時の自助を主とし、共助については応急的なものをお願いしたい。

① 村道2号線交差点改良事業

③ 防災士の活動等を通じて、情報連絡の強化を図りたい。

② 海浜運動公園管理事業

④ 訓練想定や手法を通し、村民に関心を持ってもらい全体の意識向上を図っていききたい。

③ 狂犬病等予防対策事業

② 安全確保のため、老朽化した外灯を撤去した。今後、地震・津波発災時の利用者の防災対策等を徹底していく。



▲みんなの力で（地区防災組織）

Q 次の3事業について伺う。

村長 安全安心への配慮はそれぞれ配意している

① 村道2号線交差点改良事業

② 海浜運動公園管理事業

③ 狂犬病等予防対策事業

② 安全確保のため、老朽化した外灯を撤去した。今後、地震・津波発災時の利用者の防災対策等を徹底していく。

③ 今後も年2回実施していく。今年6月実施となった、マイクロ

チップの埋め込みは識別上有効であり広報していく。

Q 村の推進について伺う。

村長 デジタル化推進の方向は課題に取り組んでいく

① 自治体DXの推進やWEB会議の開催、メールによる書面送付、税金のコンビニ納付などのシステムを取り入れている。

② ツイッター他で、兼務者2名が情報発信、収集を行っている。

③ デジタル化推進要員は、今後の必要性をみながら検討する。



▲スマホ・タブレット教室（ヴィレステ）



河中 博子 議員

職員のモラールについて

村長 士気が高まる職場作りを進める



▲職員のモラールが高まる職場を

Q モラール（士気）の向上には、集団の一員であるという自覚があること、職務分担が適切で職場内に分裂がなく話しやすい職場であることなどが求められるかどうか。

A 村長 職場の課題解決に向けた研修を随時行い、組織全体のモラルの向上に努めている。

Q 課長の役割りは大きい。モラルを下げるリーダーの言動として、不平、不満を口にすると指摘はするが改善策は考えない、そういうケースはないか。

A 村長 逆にモラルを上げる言葉は、職員への積極的な声かけと言われ、心を開いて何でも話せる職場環境づくりができています。

A 村長 職員同士のコミュニケーションの活性化は大事だと思っている。連帯感を高めながら、風通しの良い暖かい雰囲気の職場環境づくりを進めたい。

Q 村長は、職員の健康状態、仕事量、仕事の向き・不向きなどをどのように把握しているか。直接職員とコミュニケーションをとっているか。

A 村長 各課の課長が個々に面談をしており、それを課長から聞き取りをしている。またキャリア開発シートを導入し、仕事の内容、仕事の向き・不向き、職場の問題などを村長に直接提出するようにしている。



▲海浜エリアの活性化のためにゲートボール場

海浜エリア活性化の進捗は

村長 村民の意見をいただきながら進める

Q 活性化の進捗状況は。

A 村長 国の補助金は残念ながら採択されなかったが、引き続き財源確保のために、他の補助事業なども研究していきたい。

Q ゲートボール場をオートキャンプ場にするかどうか、補助金が受けられなくても、村独自でやるという決意はあるか。

A 村長 アウトドアにニーズが高まっており、今後国の補正予算や他の財源も探しながら、ぜひ向かっていきたい。



三島 尋子 議員

コロナ禍、くらしへの施策を

村長 今議会に

物価高騰対策事業を提案

Q 物価上昇は止まらず、今年度末に3%上昇に達すると専門家は示している。

日本でも食料危機が始まり、貧困と格差が拡大。実質賃金も低下、食糧供給はあっても、「食べたくても食べれない」人々が増えている。

村長の暮らしや農業・中小事業者の状況から、今後、施策として取り組みたいことは。

A

村長 新型コロナの長期化で、すべての業

種において電気代や燃油代が高騰。農業・商工分野では資機材や肥料も高騰している。今議会に、農業関係物価対策・商工関係対策応援金事業を提案している。

Q

ひとり親家庭、高齢者家庭への支援で重視することは。

A

村長 困窮家庭の子どもの状況についても把握されているか。

まずは相談支援。状況を把握し必要な支援を届けること。社会的独自支援が届いていない家庭はないと認識している。

A

教育長 経済的に困っている家庭は把握し、給食費等学校に必要な経費を補助している。

Q

学校給食費無償化、令和5年度予算で実施を。

A

村長 現在、無償化は検討していない。今後は物価上昇が起これば小学校とも相談、安定的な学校給食継続を第一に検討したい。

Q

中学校入学の負担は大きい。

A

村長 5年度予算に向けて入学時補助の検討を。家庭には、就学援助を



▲健康第一ですよ

行っている。

入学祝い金の把握もしている。他市町の状況を研究してみたい。

A

村長 保健委員は、昭和60年に発足した。自治会と行政のパイプ役として「まちの保健室」の応援や各種保健衛生事業への協力。研修等へ参加し、村の保健衛生意識を広めていただくような役割。会則の見直しを行い効果的な保健事業の推進につなげたいと考えている。

Q

保健委員会の役割とはなにか。

保健委員の役割は
各種保健衛生
事業への協力

委員と保健師の話し合いの場、保健委員会則の再検討が必要では。

委員と保健師の話し合いの場、保健委員会則の再検討が必要では。

効果的な保健事業の推進につなげたいと考えている。

経済的に困難

▲肥料や資機材高騰対策を





前田 昇 議員

海浜エリア活性化の情報共有を

村長 村民の意見をもとに検討する



▲オートキャンプ場が果たして最善策か

Q 海浜エリアは、先人も含め村民共通の財産。観光庁補助で公園の一部をオートキャンプ場にする、

来年度からの指定管理者制度を検討するなど、村民との情報共有が不十分だ。

A 村長

旧うなばら荘の計画も不透明となり、観光庁の事業は、採択にならなかつた。今後、公園の整備について、村民の意見も踏まえ検討する。

一人の村民も孤立させないための施策を

村長 福祉事務所でワンストップの対応

Q

子育てから介護まで見えない貧困や生活の困難さが広がっている。「孤独」に対する行政の対応は

A 村長

福祉事務所がワンストップで包括的な生活支援を行っている。生活困窮者には訪問し自立相談支援を

行ったり、生活支援コーディネーターを配置して、顔の見える関係を活かして地域の見守り活動にも努めている。

Q

本村の単身世帯は306世帯、そのうち70歳以上の方が127世帯（全世帯数の1割）。また70歳以上のみの世帯は208世帯である。全国平均より低いものの、孤立する危険性も高い。個別の状況の把握は出ているか。また、子ども食堂やフードバンクなどを試みてはどうか。

A

福祉保健課長 就労や健康、経済状況など、個別に概ね把握できている。ご提案の取り組みについては、これまで行っていないが、今後は検討していきたい。



▲図書館の自習利用の試行を

ウイルスステ図書館の自習利用の試行を
総務課長 具体的な対応を検討する

Q

図書館では、席を確保するために、自習を禁止しているが、この夏、利用者で図書館の席が半分でも埋まったことはあったか。図書館で自習したいという村民の声に、席数を限っても対応すべきだ。出会いストーリー

A

総務課長 ワクチン接種などで出会いストーリーが使えない日もあり、ご迷惑をかけている。審議会のご意見も踏まえ、図書館での自習について具体的な対応を検討する。

インタビュー

汗を流しています～

将来の日吉津村を担う子どものため、ボランティアで小学校の校庭の芝生管理を行っている日吉津小学校芝生化推進隊（GAP）に、ここ数年間に加入された隊員さんに聞きました。



内田 光俊さん

何かの縁と聞いたので、
校に通っていたので、
興味があり、娘も小学
校に通っていたので、
何とかの縁と思い加入さ
せてもらいました。

内田さん

GAPのバーベキュ
ーに誘ってもらい参加
しました。

森さん

メンバーから誘われ
て、自分自身も参加し
たいと思っていたので
加入しました。

**GAPに入った
きっかけは**

谷口さん

森さんに声をかけて
もらい入りました。

今吉の諸先輩方の話
を聞いて気になっつい
ましたし。

佐々木さん

メンバーの方に誘わ
れました。

**GAPに入って
感じたことは**

谷口さん

週一回行けるときに
参加しています。

話をしたり、体を動
かしたり、楽しみの一
つになっています。

諸先輩方がとても楽
しそうにしている集ま
りだと思っています。

森さん

芝刈り作業をする中
で、メンバーのつなが
りが深く、楽しく作業
ができ、やりがいを感じ
ています。



森 良平さん

内田さん

メンバーの仲が非常
に良いし、優しいです。
そして皆さんが芝生を
愛し、活動を楽しんで
います。

村外から引越して
きていて、GAPに加
入しなければ話す機会
も無かったかもしれな
いので、人の繋がり
の場でもあると感じます。





村民イン

～子どもたちのために

佐々木さん

みなさん積極的に活動されていると感じました。

**GAPの活動を
通じて思うことは**

内田さん
芝刈りは楽しみと、ストレス発散が半々みたいな感じです。



佐々木 睦さん

また、活動に参加されるかたとの親交を深めることもできる良い活動だと思います。

佐々木さん

芝生管理の大変さを感じていますが、グラウンドを使う子どもたちのために頑張りたいと思います。

子どもたちが、休憩時間に裸足で楽しそうに遊んだり、寝転がったりしているの聞き、何かしらお役に立てているのかなと思つています。

谷口さん

ほかの小学校の保護者にも知ってもらい、我が子が通う小学校にもっと意識を向けてほしい。



谷口 真治さん

森さん

子どもたちが使う校庭が安全な場所かどうか、活動しながら確認したり安全な場所を作ることができると、校庭を子どもたちが安心して走り回る環境作りができる活動だと思います。



**議会や行政に
要望があれば**

谷口さん

子どもへの支援がしっかりしていて助かっています。ありがとうございます。



ご協力ありがとうございました。
これからも子どもたちのため頑張ってください。

議会のうごき

県町村議会

女性議員研修会

とき 7月27日(水)
ところ 国民宿舎 水明荘

【趣旨】 県内の女性議員どうしでの情報交換、及び連携強化を図ることが目的。また継続的に実施することにより、女性議員の増加、ひいては議員のなり手不足解消への方策としたい。

【対象】 県内女性議員22名
《講師》 島根大学文学部 准教授 永松正則氏

《講演内容》

社会福祉領域では、とりわけ町村・議会・女性議員の役割が重要である。法制度の整備や政策実現にあたり、法の一般原則を遵守することが求められるため、女性議員目線で考えてみる。



防災講演会

とき 7月29日(金)
ところ 村議会議場



(演題) 「災害活動から学ぶ」
(講師) 鳥取県西部広域行 政管理組合

消防局長 赤川 紀夫氏
スライドを見ながら、災害現場での活動や、被災者への対応等についての実践内容を聞きました。

「村は日野川の下流。上流からの水の不安があるが」との質問に「ハザードマップのとおり災害は起きている、再確認してほしい」と言われました。

女性の防災士の必要性・普段の自治会活動等でのつながりが重要などの意見もありました。

町村議会議員研修会

自治功労者表彰式

とき 8月18日(木)
ところ 伯耆町鬼の館



(演題) 「聞いてもらえる、人を惹きつける話し方」
(講師) 宇田川修一氏

(BSSアナウンサー)
まさに、人を惹きつける話し方で、入社のかっけから今までの経験を、ユーモアを交えて話していただきました。

表彰を受けた議員 (11年)

井藤議員・三島議員・松本議員



編集後記

平成12年に大きな被害を受けた、県西部地震から22年が経過しました。

年号も令和となり、平和な日々を送りつつも、忘れないよう継続的に「防災」について考え、できることをやっていかなければ。と思う今日この頃です。

『災難は忘れた頃に

やってくる』

— 松本 記 —

今回の定例会は
12月です



表紙

小学校校庭の
芝刈り

【議会広報広聴常任委員会

松本三子・長谷川康弘

加藤 修・三島 尋子

松田 悦郎